

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

保護者等数(児童数)10名 回収数 10名 割合 100%

事業所名 児童発達支援事業所ながかみ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	0	0	0	室内も園庭もとても広いと思う。その子に合った遊びやスペースを作ってくれてうれしい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	3	0	2	保育園のスタッフも含め、たくさんの先生が見守ってくれて安心できる。子どもの特性も理解してくれている。職員の数が少ないように感じる。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	0	1	広々としているのでバリアフリーもされている。わかりやすい環境である。同じやり方を好む傾向があるため、視覚優位な工夫も欲しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	1	0	0	いろいろ工夫されていて嬉しい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10	0	0	0	面談や様子を見た上での支援計画を作成してくれて寄り添った保育を感じた。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	10	0	0	0	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	0	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	0	0	3	いろいろな遊びや取り組みを積極的に行ってくれるので子どものために良いと思う。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	0	0	0	保育園が併設されているので、子どもと触れ合う機会が多く良い刺激をたくさん受けている。互いに良い関係性を保てていると思う。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0	0	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	9	1	0	0	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8	0	0	2	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	0	1	0	登降園児に話を聞いてもらったりその日の話をしてもらえるので安心感がある。園での生活がわかるので、ディリーを復活してほしい。ディリーのやり取りを通して今の子ども様子を理解できている。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	0	0	0	色々教えてもらって助かっている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	1	1	0	コロナの状況でなのか保護者の話を聞ける機会がない。卒園児の保護者の話を聞ける機会を再設定してほしい。保護者会主催のイベントが楽しめた。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	1	0	0	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1	1	0	季節の変わり目に着る洋服の情報が欲しい。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1	1	1	毎月のおたよりや写真などで園の様子を知ることが出来て良い。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8	1	0	1		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	1	0	0	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	0	0	0	定期的に行われているので安心して預けられる。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	0	0	風邪をひいてお休みしている時でも、支度をしていこうとするのでとても楽しいのだと思う。喜怒哀楽が激しい子どもですが楽しみに行っている。
	23 事業所の支援に満足しているか	10	0	0	0	環境が良いところに入ることが出来た。出来ることも増え、ここに通えてよかった。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点等
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	
	2 職員の配置数は適切である	3	0	常に、配置基準の2名以上になるよう職員の配置を行っている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	日課を大切に繰り返し行っていくことで身についてくる。コーナーごとに区切るなど、落ち着いて遊べる環境をこころがけている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	部屋のスペースを区切り落ち着くことのできる場所の確保している。小上がりを使用し、体を動かす活動に合わせて使用できるようにしている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	毎日の10分間ミーティング会議等を通してスタッフ間で共有し、見直しや効率よく率よく行えるように意見を出し合っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	保護者向け評価表については、R3・12月に配布し、いただいた評価・ご意見をまとめました。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	事業者向け自己評価表につきましては、R3・12月に配布し、評価をまとめました。ホームページ紹介や、評価表の公開のお知らせを保護者に発信していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	第三者による外部評価は行ってない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	併設保育園のスタッフと一緒に、定期的に研修に参加している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	利用開始時、半年に一回の個別面談時にアセスメントシート・支援の意向の希望に記入していただき、個別面談を行い児童発達支援計画を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	今後、統一して使用していきたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている	3	0	毎月、定期的に目標設定、反省、振り返りを行っている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	支援計画に基づき、1か月ごとに具体的な目標を振り返りを行っている。支援計画は常に確認できるようにしている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	保育園の年間行事計画に沿って準備している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	1	毎日はず運動、散歩を取り入れているので固定化に近いが、遊びは自由に遊べている。日々のルーティンを大切にしながら季節を感じる事が出来る遊びや1人1人に合わせた遊びを行っている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	3	0	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	朝のミーティングで毎日確認をしている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	その日のうちに食事量、出来るようになったこと、気になる言動等スタッフ間で共有し、保護者から質問されても誰もが答えられるようにしている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	毎日個人の成長や気になるところをスタッフ間で共有、話し合いをし改善に努めている。
20 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	全員と年2回以上モニタリングを行い、支援計画の見直しをしながら連携を密にしている。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	コロナ禍で会議自体の開催が減少した。そのため、書面や電話で確認し合っている。
	22 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	必要時、書面や電話で確認し合っている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	現在医療的ケアの必要な子どもはいない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	現在医療的ケアの必要なお子さんはいない。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	電話や園に訪問し、情報を共有し引継ぎ等を行っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	サポートかけはしシートの作成をし、就学先からの訪問時の際、情報提供をしている。

関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	保育園が併設されているので、常に対話する機会がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	3	今年度、参加できていない。今後情報を得て、積極的に参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	送迎時、家での様子の確認と、帰りの際には、活動の様子を直接保護者の方に伝えている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	3	現在プログラムにはありません。困っていること、対応策、事例検討などの書籍の紹介している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	必ず、契約時にご説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	ガイドラインに基づいて保護者の方と話し合いを持ちながら計画を立て、同意を得ています。からも同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	モニタリング時、送迎時にその都度行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	今年度は、保育園の0歳～1歳児のクラスと一緒に保護者会を開催した。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	月に一回、ここペリだよりを発行し、掲示も行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	日頃から十分配慮している。個人情報の書かれているファイル等につきましては、鍵付きのロッカーで保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	子どもの状態に応じて対応している。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	0	併設の保育園に準じている。子育て広場を通していつでも園庭を開放している。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	保育園と一緒に避難訓練を定期的に行い、時には保護者にも参加していただき常に非常事態を想定した動きが出来ていることを伝えていく。緊急連絡網にて連絡先の資料と、一斉メールが出来るように体制を整えている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	毎月、保育園と一緒に様々な想定をした訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	契約時に必ず確認している。服薬の有無も確認している。変更時は薬手帳のコピーを保管している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	医師の指示書の提出を願い、解除の時も医師の解除証明書を提出してもらっている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	ヒヤリハットの事例があった場合は、書面に記載し必ず報告し、情報の共有を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	今後、研修の参加実施を計画中。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	0	身体拘束はおこっていない。おこわない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。